

はんなん海の学校について（設立趣旨）

1. 概要

阪南市が行う「市民協働・共創事業提案制度～まちづくりチャレンジプロジェクト～」の市が提示したテーマである「はんなん海の学校事業」に対して、NPO 大阪湾沿岸域環境創造研究センターが阪南市学校教育課（教育委員会）、阪南市立中央公民館と協働で実施します。

阪南市が推進している小学校における「海洋教育」を、中学生以降の若年層にもその機会を設けることで社会教育として「海洋教育」を地域に根付かせることを目的としています。

2. 運営方針

市民が何らかの形で海と関わる事ができるまちづくりに寄与するために、はんなん海の学校では企業・大学などの様々な主体を講師に、社会・地域づくり・教育・情報発信などの様々な分野から阪南の海を考えてくれる人を増やし、身近でできる SDGs を実践する市民を増やしていくことを目指します。

3. 内容

3年間で持続可能な運営体制・方法を確立していくために企画運営会議および企画運営部会を設置して、計画・実行・検証・改善を順応的に行いながら以下の取組みを進めていきます。

【1年目（2023年度）】

生徒募集／開校式／学習会・研修会の開催／体験活動／市内各行事活動への参加・発表

【2年目（2024年度）】

学習会、研修会の開催／小学校の取組との連携／市内各行事活動への参加／（仮称）はんなん海洋サミットの企画運営

【3年目（2025年度）】

学習会、研修会の開催／市民向け講習会の開催／小学校の取組との連携／市内各行事活動への参加／自主活動の企画運営／大阪・関西万博への参加

4. 体制

企画運営会議（活動方針等 決定組織）

委員：学校関係者（大学・高校・中学校）、地域活動団体、企業 ※6名前後

オブザーバー：阪南市政策共創室、地域活動団体等 必要に応じオブザーバーとして要請

事務局：阪南市立中央公民館、阪南市学校教育課、NPO 大阪湾沿岸域環境創造研究センター

企画運営部会（活動方針等 検討組織）

事務局：阪南市立中央公民館、阪南市学校教育課、NPO 大阪湾沿岸域環境創造研究センター

活動内容について（案）

1. 年度内の活動内容について

1 年目の学習会・研修会は、事務局および阪南市関係部局を主たる対象とした内容とする。参加する行事などでの講演なども含めたものとする。

2. 2 年目以降の活動内容について

2 年目以降は、以下の内容を企画運営会議にて検討していく。

① 学習会・研修会

- 海と人との関係（いにしえからの日本人の自然との向き合い方）：1 回

⇒澁澤寿一氏（共存の森ネットワーク）、塩野米松氏（作家）、木村尚氏（NPO 海辺づくり研究会）のいずれかの方に講演依頼

※公開授業として「大阪湾の環境」と同時開催を検討する

- 海と関わる仕事（海と関わる仕事や海の環境保全に関わる仕事をしている様々な分野の企業の考え方）：2 回（1 回で 2～3 社程度）

⇒セブン-イレブン記念財団、関西エアポート（株）、東京海上日動火災保険（株）、マルハニチロ（株）、日本ミクニヤ（株）、ランドブレイン（株）などに協力依頼

- 大阪湾の環境（大阪湾の環境の現状を知る）：1 回

⇒大阪公立大および水産技術センターに依頼

※公開授業として「海と人との関係」と同時開催を検討する

② 体験活動

- 身近な海の楽しみ方（海での活動を行っている団体による海の魅力や安全に遊ぶためのポイント）：1 回

⇒海の安全教室（CNAC に委託）、海の生き物観察会（チーム☆ガサに委託）

※初夏に同時開催を検討する。

- 海のお仕事見学・体験：4 回

⇒関西国際空港施設見学（関西エアポートに協力・受け入れ依頼）

⇒魚の養殖施設見学（マルハニチロに協力・受け入れ依頼）

⇒漁業見学（各漁協に協力依頼：底曳きや定置網などの操業の様子を見学）

⇒環境調査体験（日本ミクニヤ（株）に依頼）

⇒カキ養殖作業体験（漁師鮮度に協力・受け入れ依頼）

※施設見学はバスをチャーター

※漁業見学と調査体験は同日で実施

- 小学校の授業体験：1 回

⇒授業のサポート（各小学校へ依頼）

